



平成26年9月30日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

松ヶ崎の山探検隊 ～みんなで松ヶ崎の山で遊ぼう～

小大連携事業里山景観プロジェクト



9月6日土曜日、PTA・松ヶ崎山ろく景観プロジェクト実行委員会・運営協議会主催の『松ヶ崎の山探検隊～みんなで松ヶ崎の山であそぼう～』を開催しました。

子どもたちはグループごとに分かれて、4つのポイントを回りました。

クイズポイントでは学生さんから難問が出題されました。昨年、山のことをしっかり学んだ4年生はしっかりと答えられたようです。

下鴨署の機動隊のみなさんからは、山での救助の時に使う道具を紹介していただいたり、救助訓練の一部を見せていただいたりしました。

おやじの会のみなさんには、のこぎりの使い方を教えていただきました。初めて体験した人もコツを教えてもらい、最後の方は、リズムよく切ることができました。

切った木は、お土産にいただきました。

記念撮影ポイントでは、落ち葉をスタンプ代わりにしました。疲れた表情の人もPTAの方からおやつをもらって復活！よい笑顔で写真が撮れました。

天候が心配されましたが、絶好の山登り日和となり、松ヶ崎の自然をたくさん感じることができました。

ご協力いただいた各団体の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。

(9月8日ホームページより)

3年生の総合的な学習の時間には、「わたしたちのたからもの『松ヶ崎の里山』』という単元で学習を進めています。9月25日(木)には、学校運営協議会 岩崎猛彦会長にゲストティーチャーとしてお越しいただき、里山と人とのつながりについて、子どもたちにお話をいただきました。ちょうどこの日は、3年生の校内授業研究会。たくさんの教職員が見守る中、子どもたちは、しっかりとつながりを考え、発表していました。

この探検隊に参加した子どもたちも、さらに、里山を守っていかなければ…と考えるようになったのではないのでしょうか。



第2回 学校運営協議会理事会 開催

9月22日(月)午後7時より、第2回学校運営協議会理事会を行いました。今回は、「第1回学校評価結果」を中心に報告し、理事の皆様よりご意見・ご感想をいただきました。

(第1回学校評価につきましては、10月1日配布予定の『松ヶ崎だより 学校評価特集号』をご覧ください。)

お忙しい中、お集まりいただきました理事の皆様ありがとうございました。ここでは、いただいたご意見・ご感想の一部を紹介します。

学校運営協議会 第2回理事会

- はじめに
 - ・理事長 岩崎猛彦氏
 - ・学校長 池田利勝
- 1. 今年度第1回学校評価について
- 2. 各企画推進委員会からの報告
- 3. その他
- おわりに
 - ・副理事長 島 浩之氏

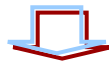
1

・評価は、一つの目標であり、これにより意識改革ができる手段となります。
→教職員が共通理解し、アイデアや工夫を凝らして日々の学習を進めていきます。

・数値によって学年のばらつきはあるのでしょうか。
→低学年・高学年で見ると、例えば「①人の話を聞き、自分の考えを話す。」は、低学年はAが56%高学年は34%と低学年が高くなっています。他の項目においても、特に1年生は、Aとしている児童が多いようです。そういうことも考慮し、2年生以上で評価をしている学校もあります。

・《資料》「ご家庭で大切にされていること」には、家庭のおもいが伝わってきます。この数値と各項目の数値を比較してみるとよく分かります。
学校と家庭とが連携し、取組を進めていくことが大切です。

・「あいさつ」・「あんぜん」・「ありがとう」の3つを特に大事にして学校が取組を進めています。この中にも「あんぜん」に関する評価項目があってもよいでしょう。



* 「あいさつ」は以前に比べるとよくなっています。

* 朝の登校見守りでは、横断歩道等で自転車の危険な運転が見られます。

(二人乗り・メールをしながら・バイクでもメール・斜め横断)

注意をするのですが、聞いてもらえないこともあります。

子どもたちにとって、よくない見本です。

* 横断歩道を渡る子どもたちを待って、走行する自転車も増えています。そんな方に、子どもたちが、「ありがとう」と言えるとよいですね。

→今年度も3つの「あ」を大事にしています。機会あるごとに、「あいさつ」・「あんぜん」・「ありがとう」について話をしています。「あんぜん」については、今後も指導を深めていきます。

2・3

・先日行った「松ヶ崎の山探検隊」は大盛況でした。学生にとってもよい勉強になりました。
→主催、協力の諸団体様、保護者の皆様ありがとうございました。

・松ヶ崎放課後まなび教室は、後期の募集が終わりました。後期は26名の参加がありました。全員で61名です。毎月のスタッフ会議も定例化し、子どもたちの自学自習に向けて、スタッフもがんばっています。

・図書メディアセンターも動き出し、子どもたちが、積極的に学習をしています。

・土曜学習については、学年でお話を聞いたり学習したりしたほうがよいものについては、そのように学習スタイルを変えていこうと考えています。たくさん子どもたちに学習してほしいと願っています。

・ゲストティーチャーとして、今年も地域の方にお世話になります。よろしく願いいたします。